

# 近況報告会

株式会社 タツミ

代表取締役社長

山本千秋

JASDAQ

# 本日の報告内容

1. 2007年3月期 振り返り
2. 2007年3月期 経営業績
3. 第6次中期経営計画との比較
4. 販売戦略
5. 技術戦略
6. 成長戦略

～質疑・応答

**1. 2007年3月期 振込返り  
(第56期)**

# ① 建物のリビルト完了

1. 2007年3月期振り切り

## 製造事務所の改修（4号棟）

06/4 完成

### 金型内製および品質機能の集約（72坪）



1F・圧造金型内製化域

・精密検査域・恒温室（ $20^{\circ}\text{C} \pm 2^{\circ}\text{C}$ ）

2F・製造事務所・ミーティングルーム

### かたりべ荘の自前化

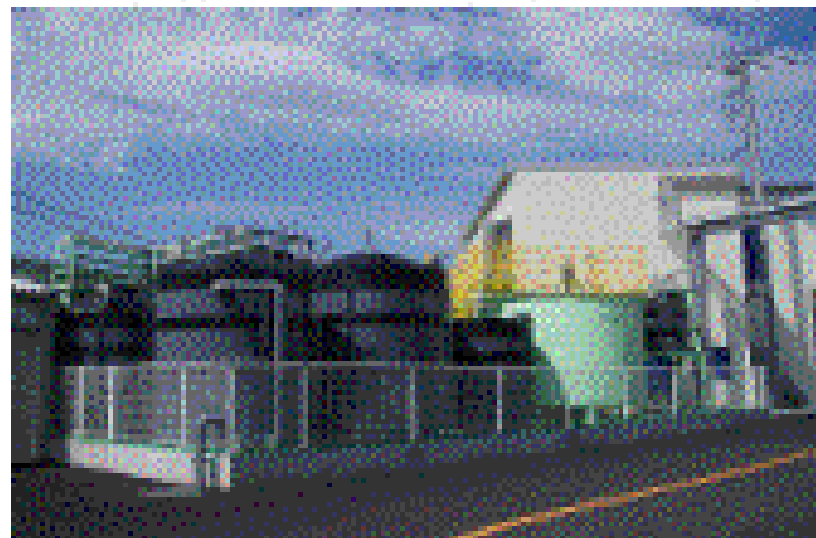


1. 2007年3月期振り返り

## 熱処理・メッキ棟の改修（6号棟）

’06/8 完成

### 防音・無窓工場化



#### 新排水処理設備

- ・ 処理異常時・・・放流防止  
(30トン緊急槽設置・2時間稼働分)

1. 2007年3月期振り返り

## 製品倉庫の新築（7号棟）

’07/1 完成

出荷域と構内物流の区分けが出来て安全が図られた（470坪）  
設備メンテ・ライン化製作域を確保した（68坪）



- ・ 製品置場・出荷域・事務域
  - ・ 重量棚による空間利用
  - ・ 移動ラックによるスペースの効率化



1. 2007年3月期振り切り

旧製品倉庫の改修（5号棟）

生産域の拡大（約300坪）



07/5 完成

工場の民家側は完全撤去



1F・利便快速系部品生産域／受入  
2F・生産管理／ミーティングルーム



- ② '08モデル 新規受注
- ・ 増産対応設備準備完了

## 熱処理・メッキ処理ライン

### 処理能力増強・環境負荷低減



'06/3 熱処理装置稼働

処理能力 1,080ton/年 2.2倍

有害物質使用廃止（トリクレン⇒炭化水素）

CO2排出量削減（電気炉⇒ガス炉）

'06/9 メッキ装置稼働

処理能力 3,600ton/年 1.6倍

有害物質使用廃止（6価⇒3価クロムメッキ）

メルバイオの採用（油を主食とするバクテリアを活用）

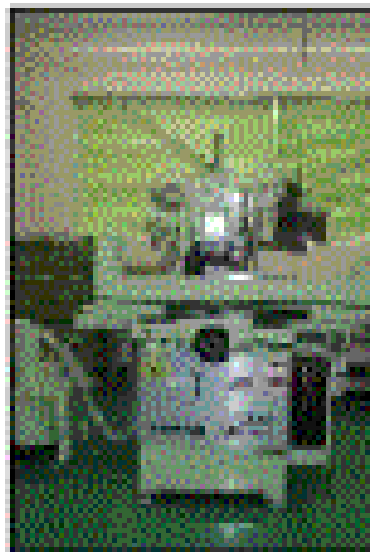


# 圧造金型製作設備

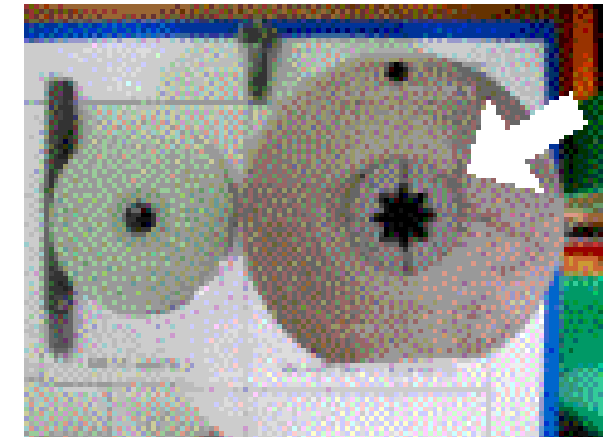
'06/5 稼働

内製化率20%と設備フル稼働を目指す

精密成形研削盤



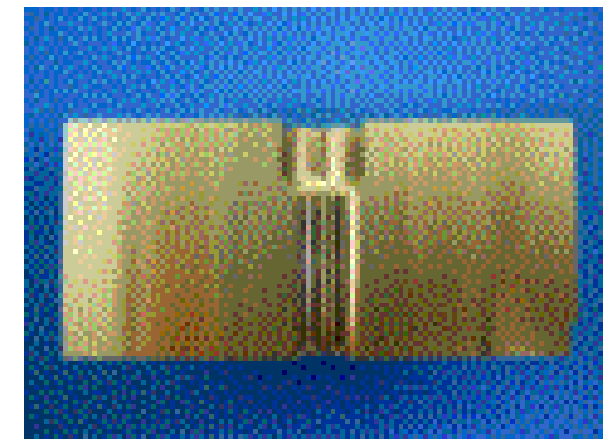
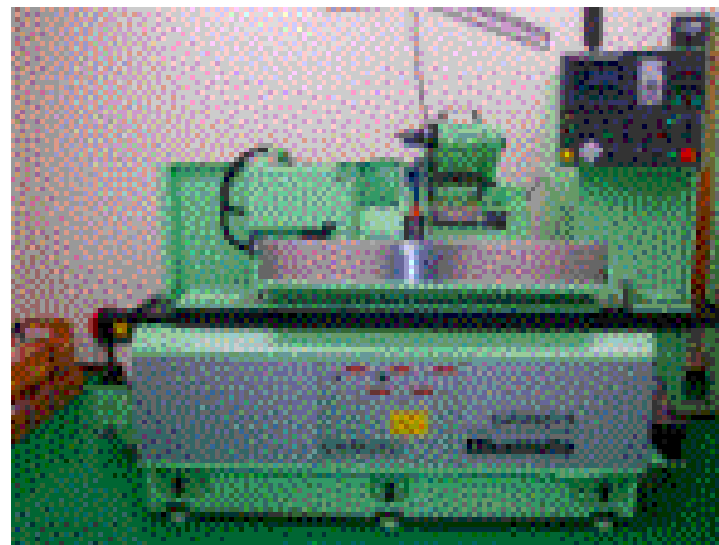
ワイヤカット放電加工機



砥粒流動研磨機



NC精密円筒研削盤



キヤタイス断面

1. 2007年3月期振り返り

**4軸走行制御用部品（VSA）新生産設備**

'07/5 稼動

**高速高精密加工機の導入（新規受注 40万個/月体制）**

**CNC6軸自動旋盤**



**クリーン度A対応自動洗浄機**



**全数自動検査装置**



1. 2007年3月期振り返り

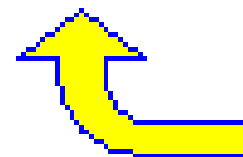
## 我が社の最速ライン設備

'06/12 稼働

視界確保系ワイパー部品加工ライン 加工タクト4秒



長短シャフト  
多品種少量・段取レス対応



コイル材切断機



月産30万個

1. 2007年3月期振り返り

ミツバグループ増産対応

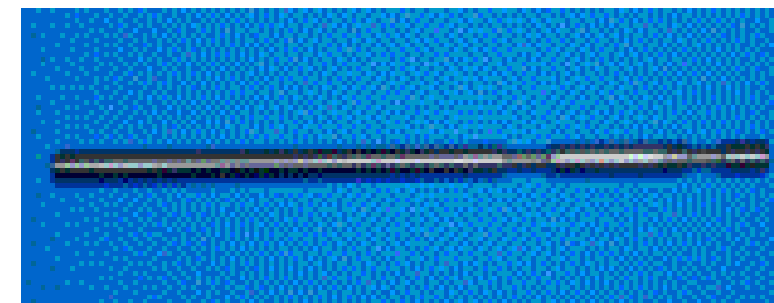
'07/4 稼働

利便快適系パワーウィンド部品加工ライン増設  
90万個体制確立(6ライン⇒7ライン)

→ '08/3期は110万個体制まで増強(8ライン)



Φ7 x L138



'07/4

## ③ゼロエミッション達成

環境マネジメントへの取り組みとして  
廃棄物の99%リサイクル化に成功



'07/2

## ④ P M 診 断 合 格

**T P M 優秀賞  
受賞のための P M 診断に合格した  
⇒ ' 07/9 優秀賞受賞予定**





## ⑤ お客様からの表彰

1. 2007年3月期振り返り

# 磨ブレーキ工業 株式会社 殿



品質努力賞

VA優良賞

車両紹介販売  
感謝状

# 株式会社 ミツバ 殿



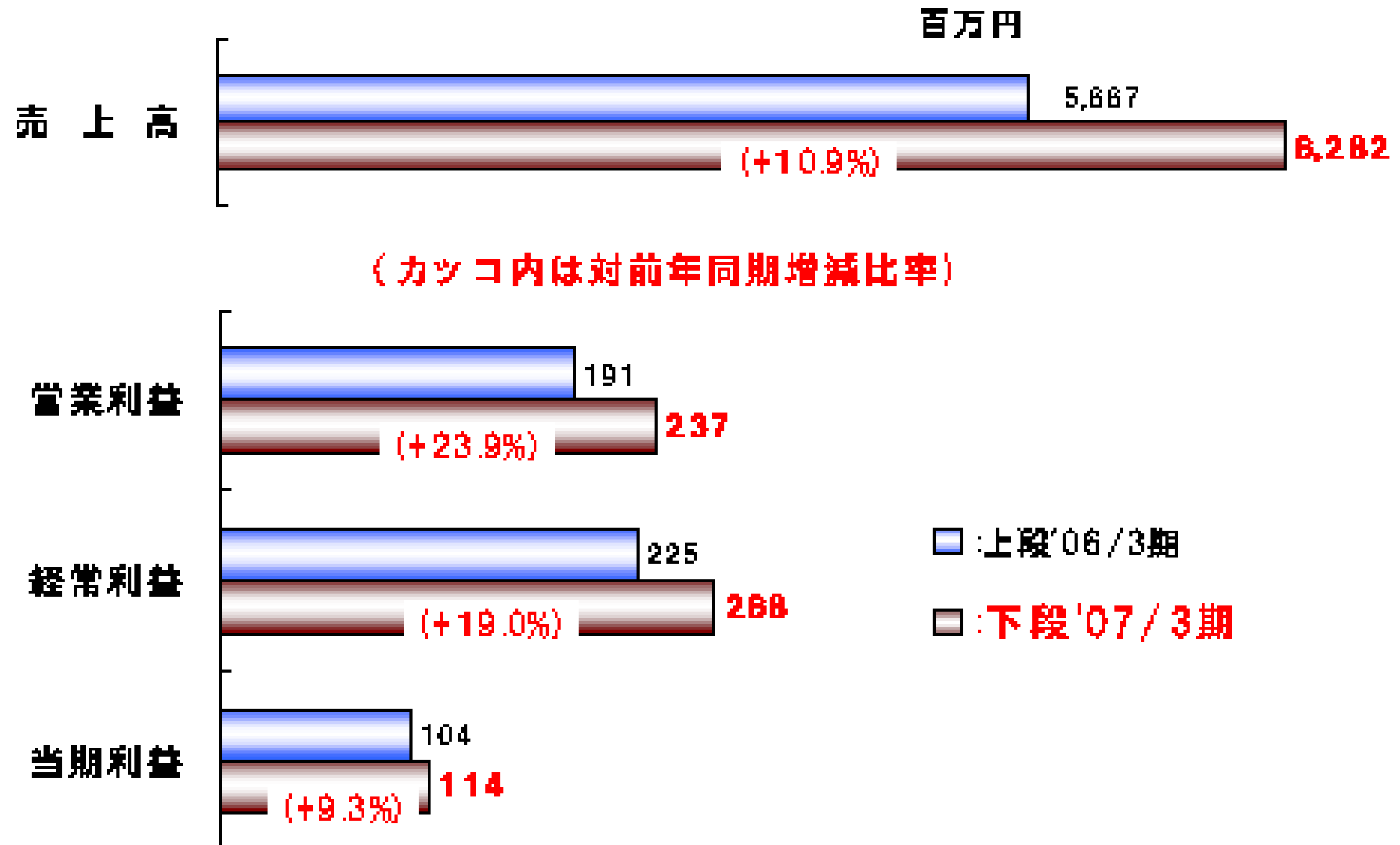
## 車両販売特別賞

## **2. 2007年3月期経営業績**

**(第56期)**

【業績】

売上高及び経常利益は、過去最高額を達成



### **3. 第6次中期経営計画との比較**

**’06年3月期～’08年3月期  
(第55期～第57期)**

【売上高】

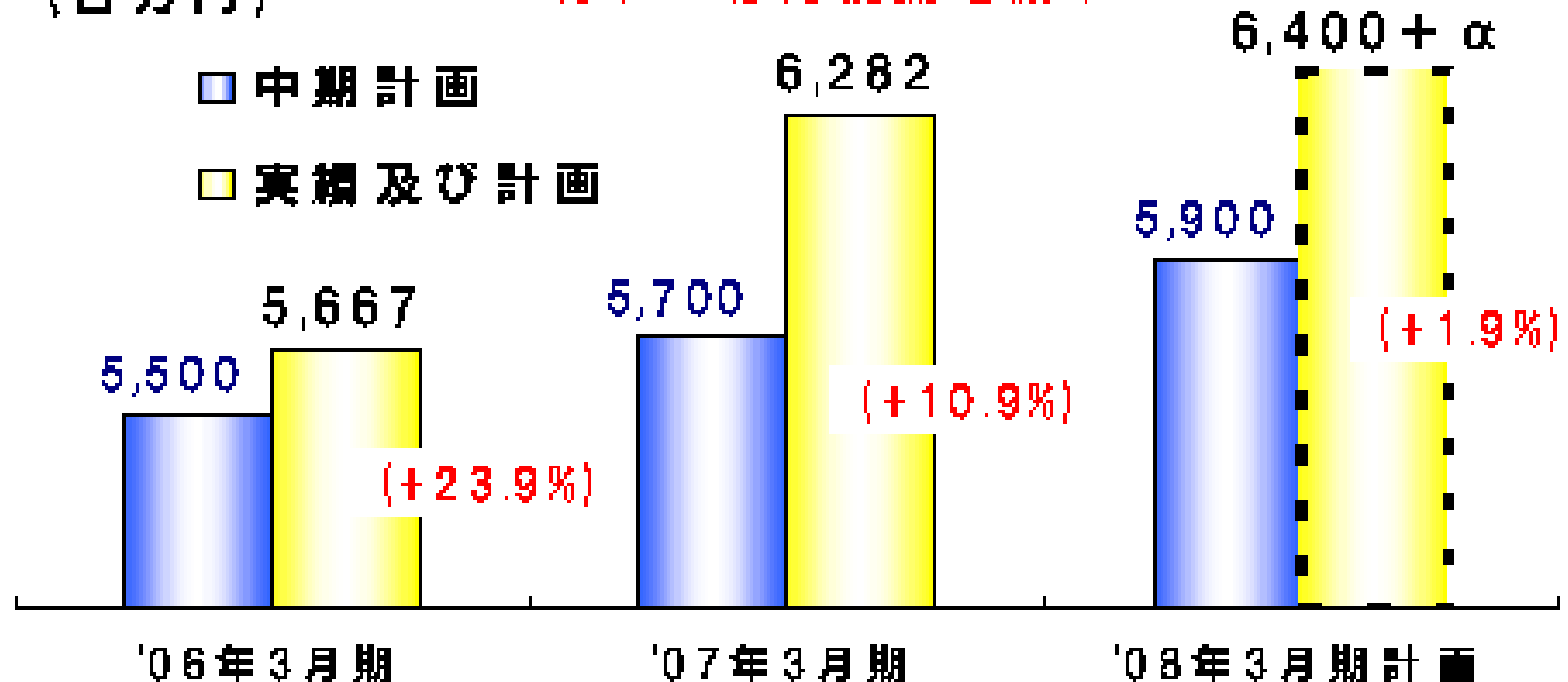
世界戦略車CRV搭載部品の増産とシャフト戦略部品の好調により  
 '07/3期は1年前倒して達成した。

'08/3期は現地調達化の加速が予測されるため慎重な計画にて推進

(百万円)

カッコは対前期増減率

- 中期計画
- 実績及び計画



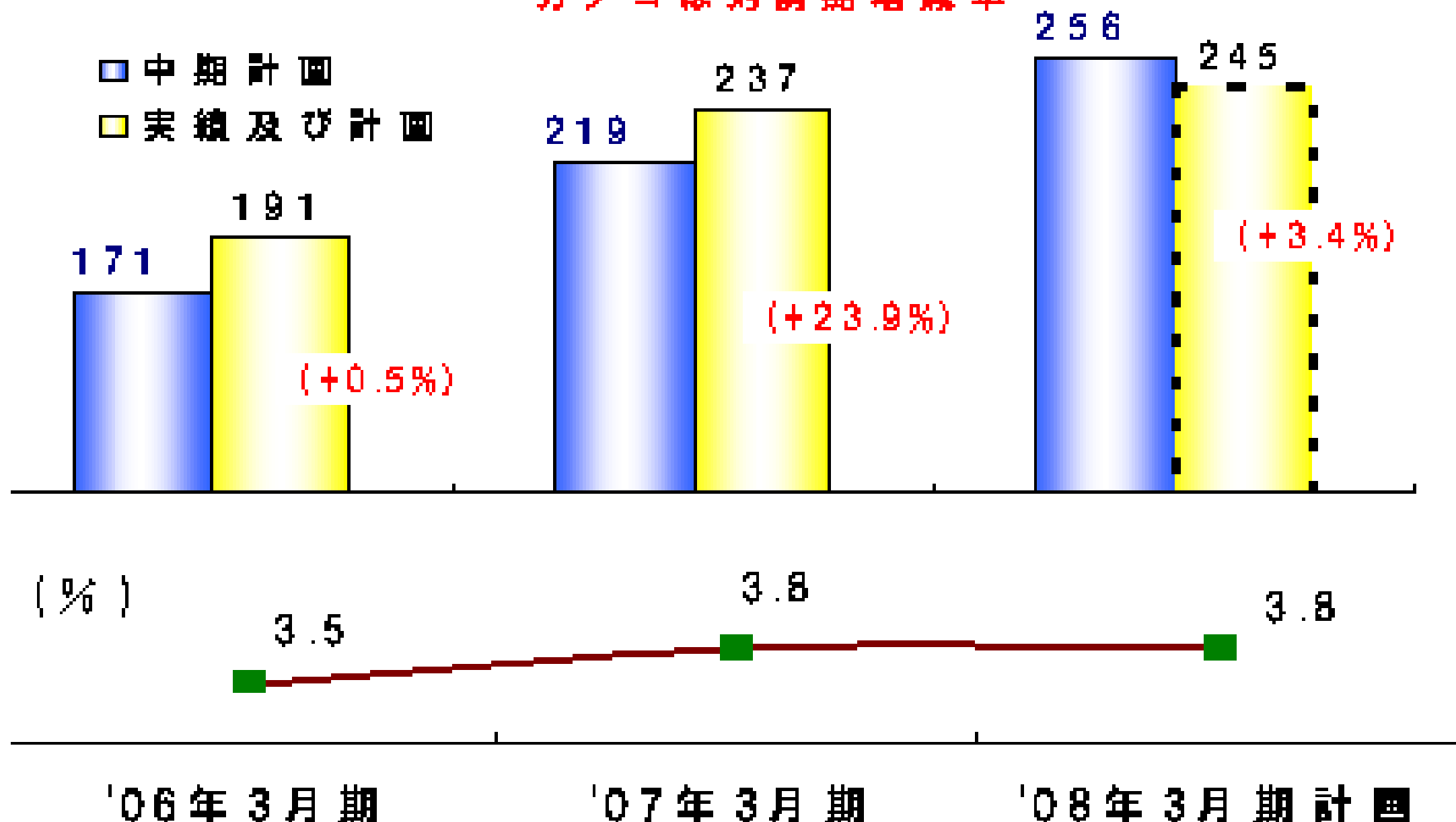
【営業利益】

お客様中国コスト要求・償却費負担ピーク等の減益要因あるが前期ベースの利益率を死守

(百万円)

カッコは対前期増減率

- 中期計画
- 実績及び計画





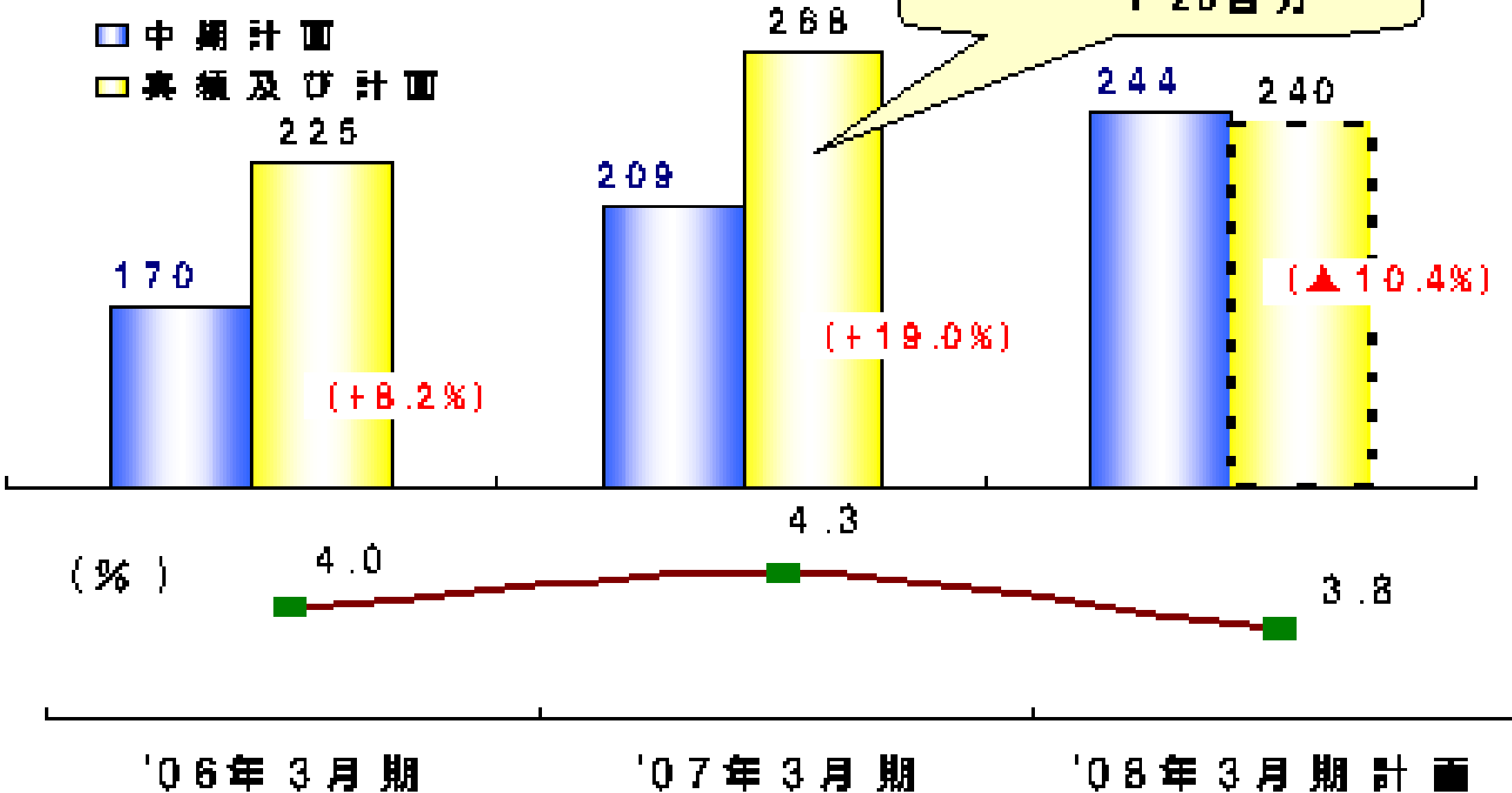
【経常利益】

前期ベースの金額を維持（'08/3期は有価証券売却益なし）

（百万円） カッコは対前期増減率

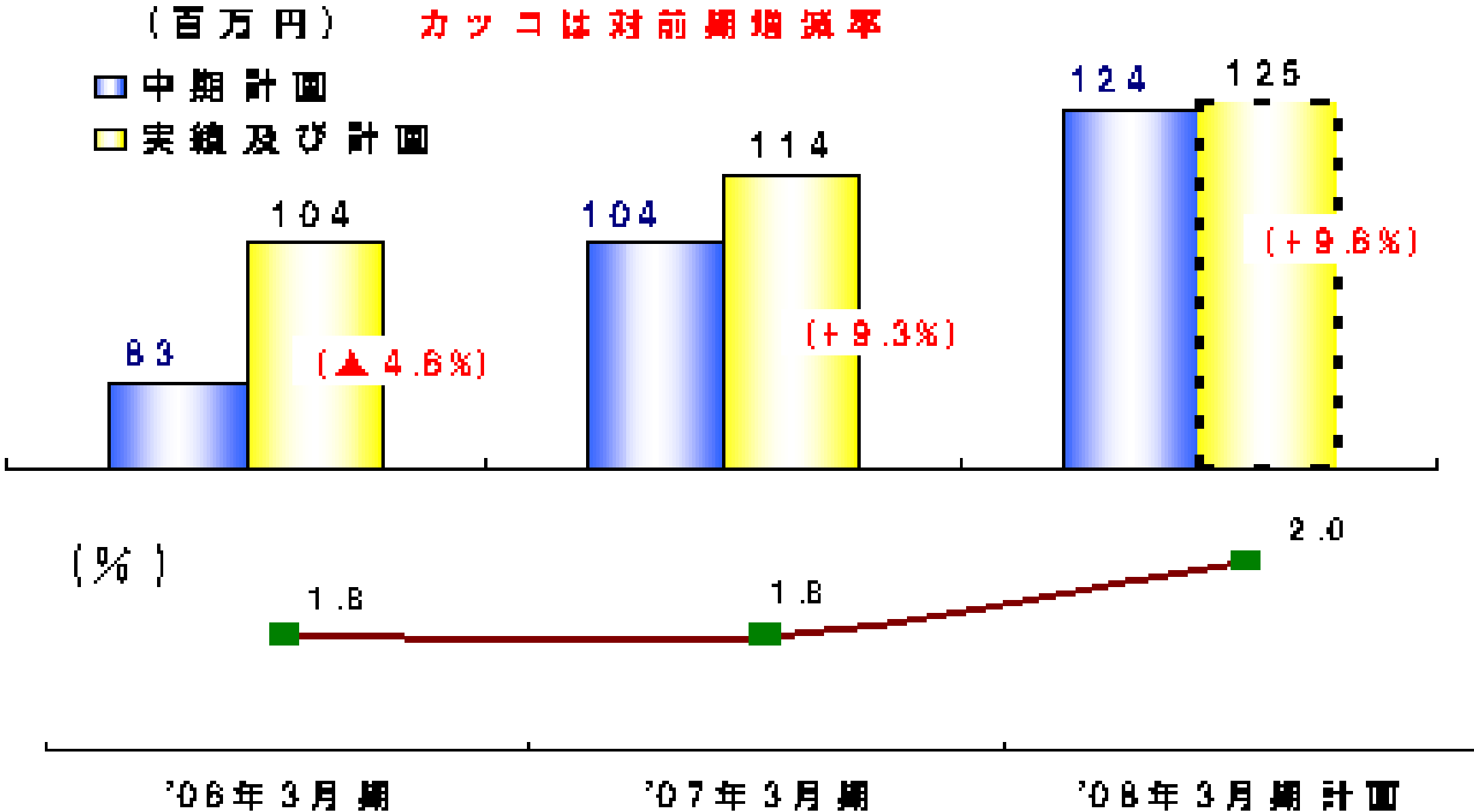
■ 中期計画  
■ 実績及び計画

有価証券売却益  
+ 26百万



# 【当期利益】

125百万円の確保とともに、安定配当を続ける



【設備投資】

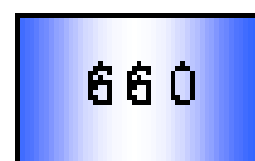
第6次中期見込 2,700百万円(計画比+100百万円)

⇒4線走行制御(VSA)用 2号機導入予定(100百万円)

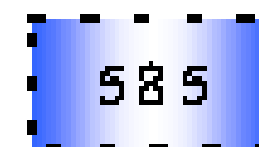
主なもの

① 建屋改修	101	397	62
② メッキ・熱処理	-	514	-
③ 電装部品用	159	176	25
④ 走行制御部品用	-	46	284
⑤ 圧造機	132	-	-

《投資総額》リース含む



(百万円)



(償却費・リース料)

(カッコ内は前年比増減額)

□リース料  
□償却費



'08年3月期実績

'07年3月期実績

'08年3月期計画

## 【'08/3期取組課題 中期目標の達成】

### ①拡張

- ・SPU戦略管理による拡張体制の構築・・・'07/3期完了
- ・冷間鍛造の取組み準備→事業戦略の構築・・・取組中

### ②コスト競争力改善

- ・桁違い品質の実現 → 品質コスト1/10・・・取組中
- ・TPマネジメント(合理化)推進  
・・・'07/3期実績 203百万円→'08/3期計画 300百万円
- ・金型製作の内製フル稼働→2直体制・・・'08/3期末完了予定
- ・全社生産性向上30%・・・'07/3期実績 11%→'08/3期計画 10%

### ③体質強化

- ・TPM優秀賞→設備メンテナンスの自前化・・・'07/9受賞予定
- ・生産管理sys.の改革(ERPの活用)  
→L-MACS導入で在庫削減・材料費コントロール  
・リードタイム短縮・臨時便削減・・・'08/1導入予定
- ・監査室による内部統制体制の確立・・・'07/3期設置→'08/3期展開中

## 【'08/3期取組課題 中期目標の達成】

### ④グループ経営強化

- ・ CMM (時計工場) → 電装品加工用 新3ラインの安定稼働  
… '07/4 設備搬入
- ・ CMM異損赤字解消… '06/12期 単年度黒字化
- ・ CMM品質・技術・技能自立化のマザー支援  
… QAV推進中・材料調達化'07/4・研修制度の導入
- ・ AMC (米国販売拠点) 新規顧客の開拓  
… ホンダ系日系メーカーへプレゼン中

### ⑤次期中期

- ・ 第6次中期 最終年度の対応・諸施策の達成及び刈取り
- ・ 第7次中期経営計画へのスムーズな移行

# 4. 販売戦略

## 【戦略製品体系の変更】

**SBU****戦略事業単位***Strategic Business Unit*

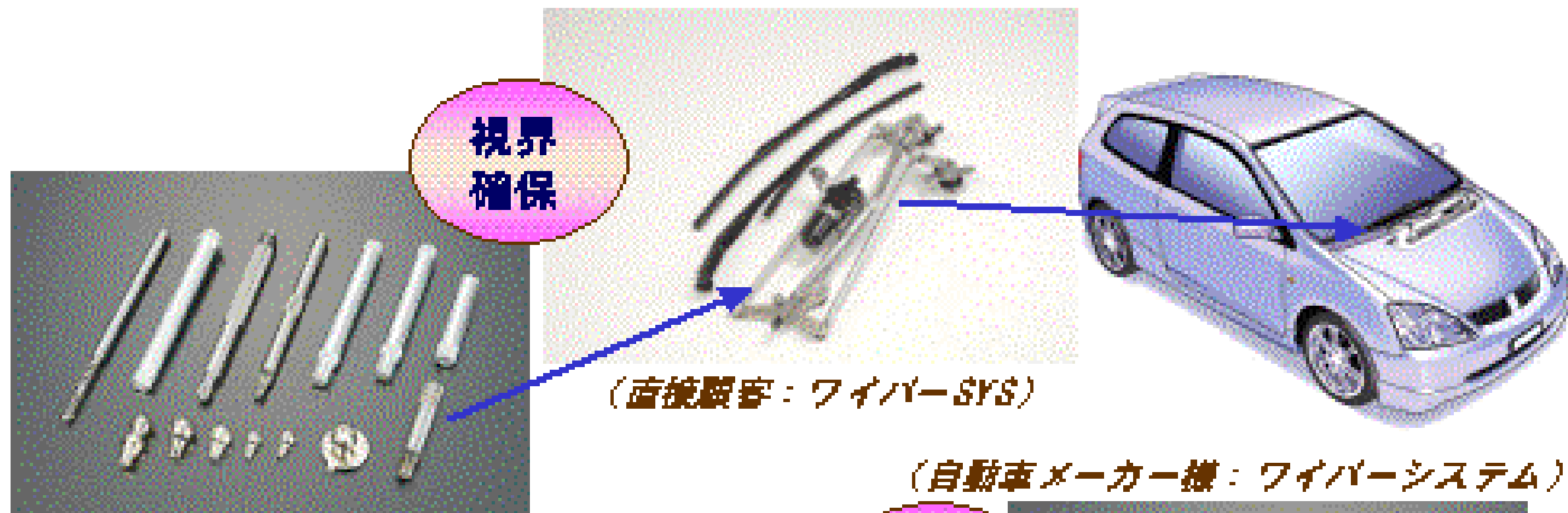
4輪電装品用部品
2輪電装品用部品
自動車一般用部品
ブレーキ用部品
その他部品

**SPU****戦略企画単位***Strategic Planning Unit*

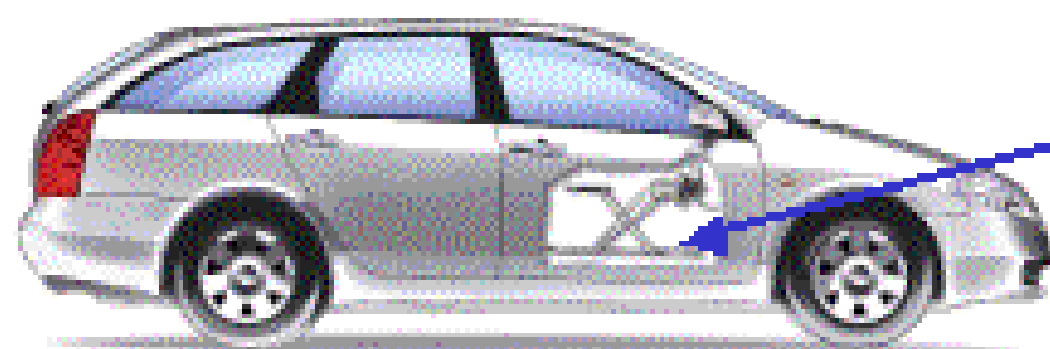
視界確保	(07/3シェア) 10%
利便・快適	24%
コミュニケーション	3%
4輪エンジン補機	7%
2輪・汎用	15%
4輪走行制御	31%
2輪走行制御	7%
応用機器	3%
ロイヤルティ	(0.1%)

◆計画の立案・実行・評価・是正の戦略的取組みを行なうため  
SPU管理を行なう。

# SPU毎の用途



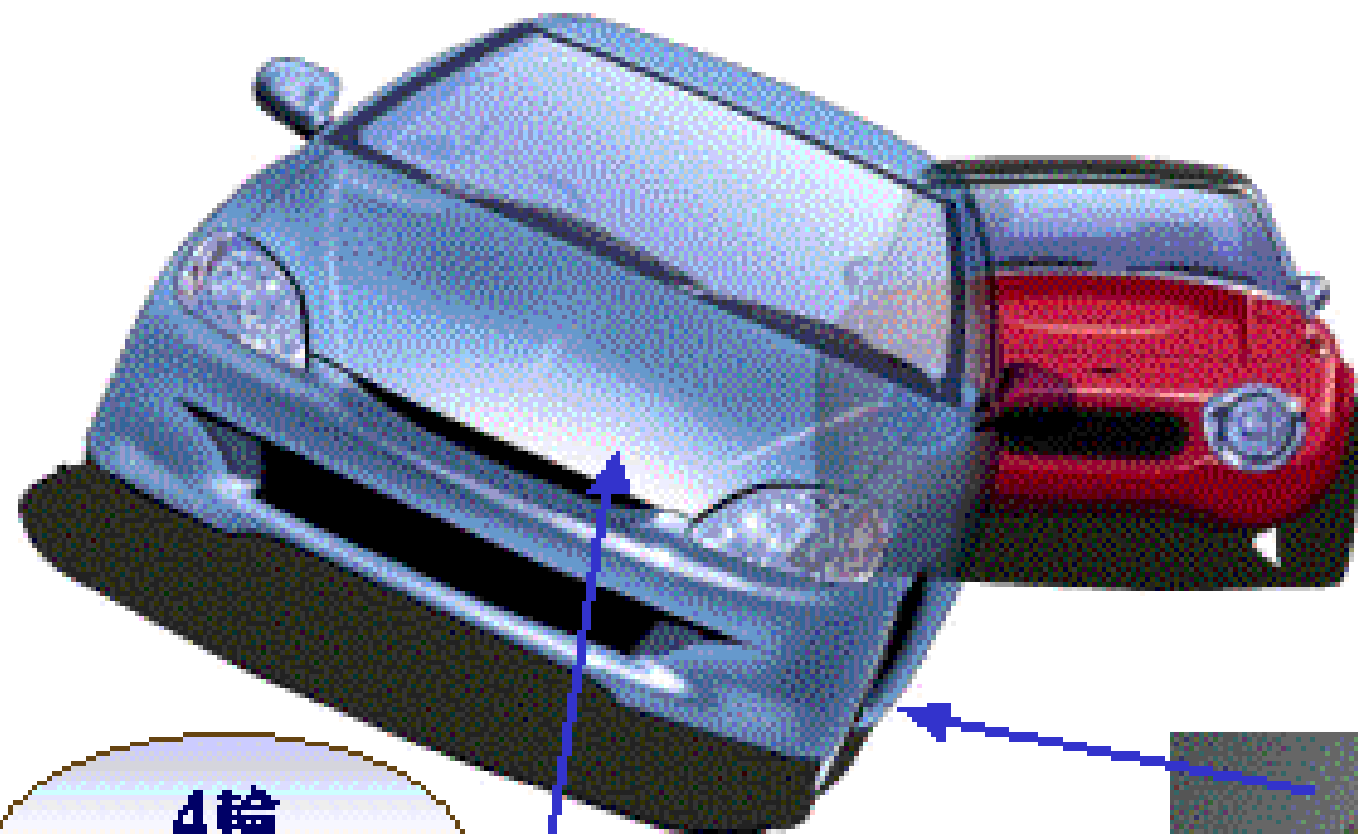
ワイパーシステム用部品



(自動車メーカー様:パワーウィンドーシステム)



# SPU毎の用途



4輪  
エンジン補機



スターターモーター用部品



4輪  
走行制御



ディスクブレーキ/ドラムブレーキ用部品

# SPU毎の用途



エンジン用部品

2輪・汎用



2輪  
走行制御



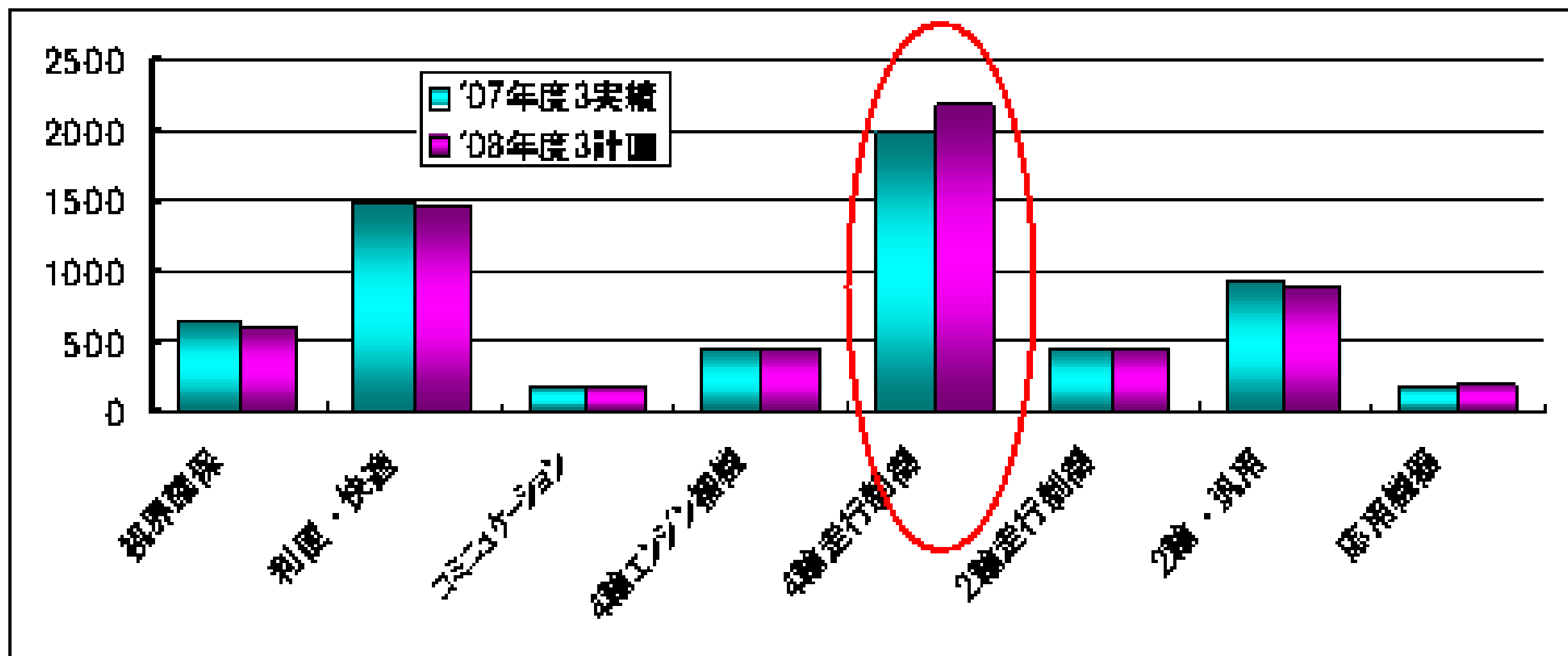
ABS用部品



# 【販売実績・計画(重点戦略SPU)】

'08年3月期 6,400百万円を達成させる。

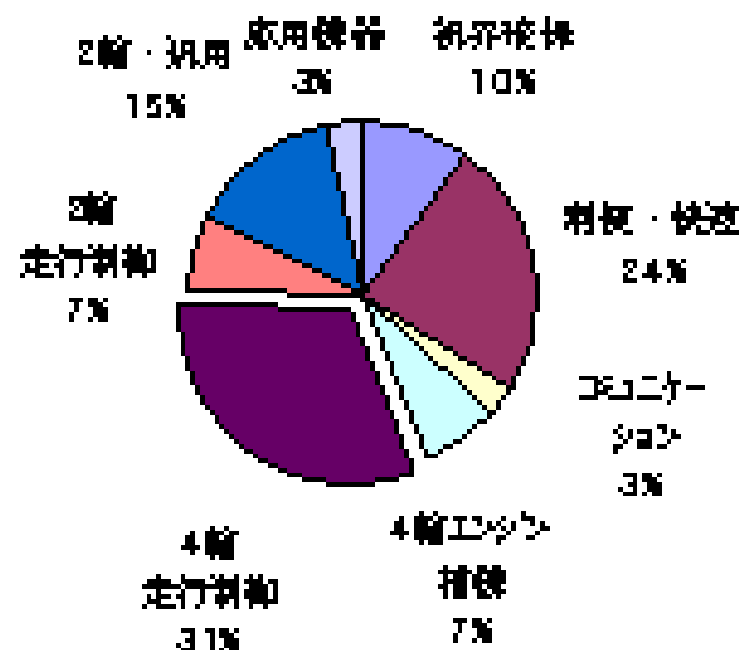
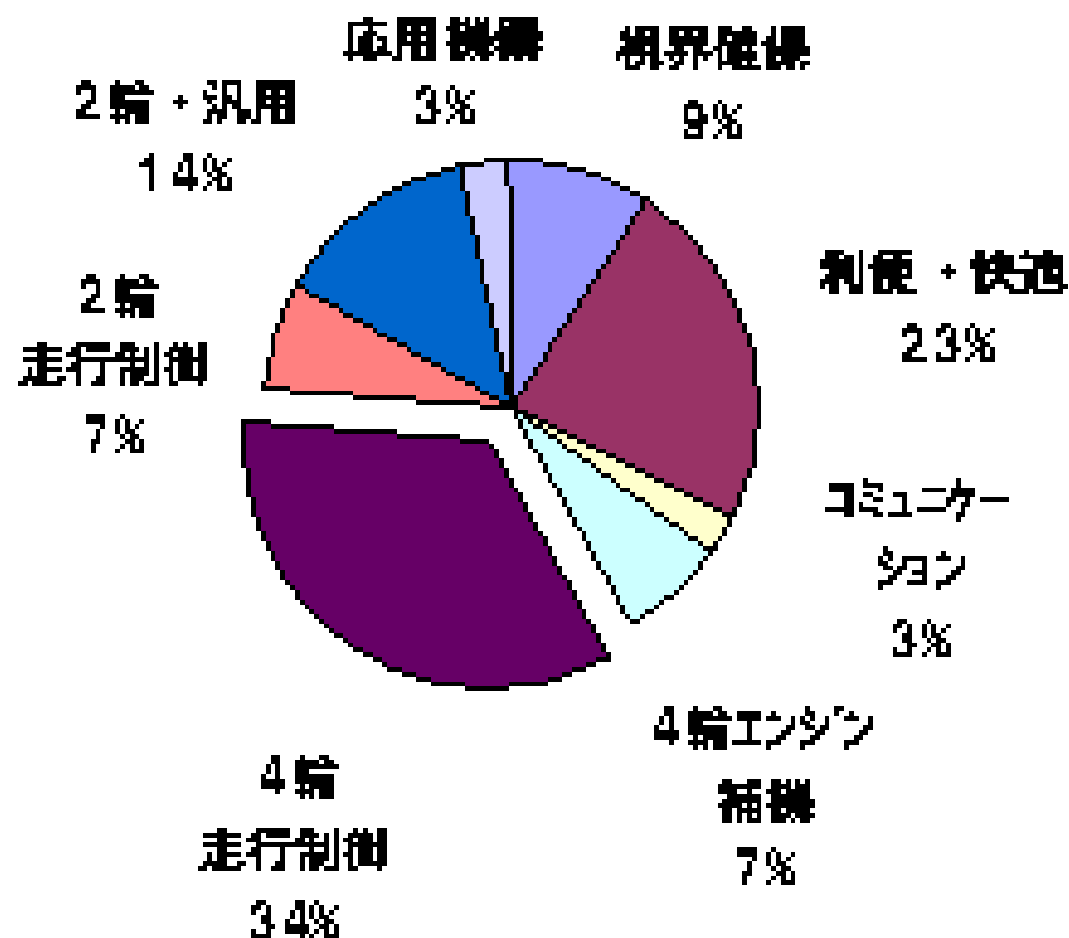
単位 = 百万円



	視界確保	利便・快適	安全・安心	4輪エンジン搭載	4輪走行制御	2輪走行制御	2輪+汎用	応用機器
'07年度3実績	638	1,491	177	452	1,976	441	920	187
'08年度3計画	610	1,470	170	440	2,180	440	900	190

# 【新製品管理体系の売上シェア】

’08/3期計画  
(6,400百万円)

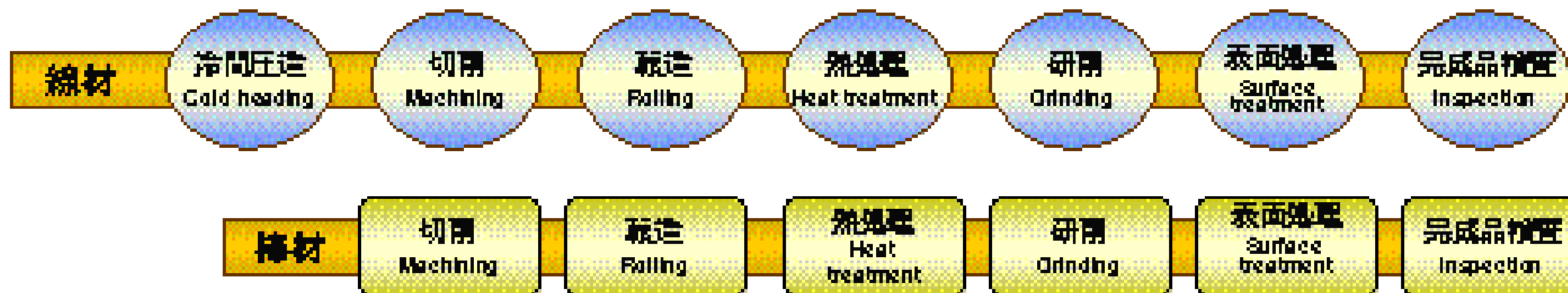


’07/3期実績  
(6,282百万円)

# 5. 技術戰略

# 【一貫生産システム】

## 5. 技術戦略



圧造機



NC切削機



全自動 熱処理装置



研削盤 円筒・外周・端面・面研



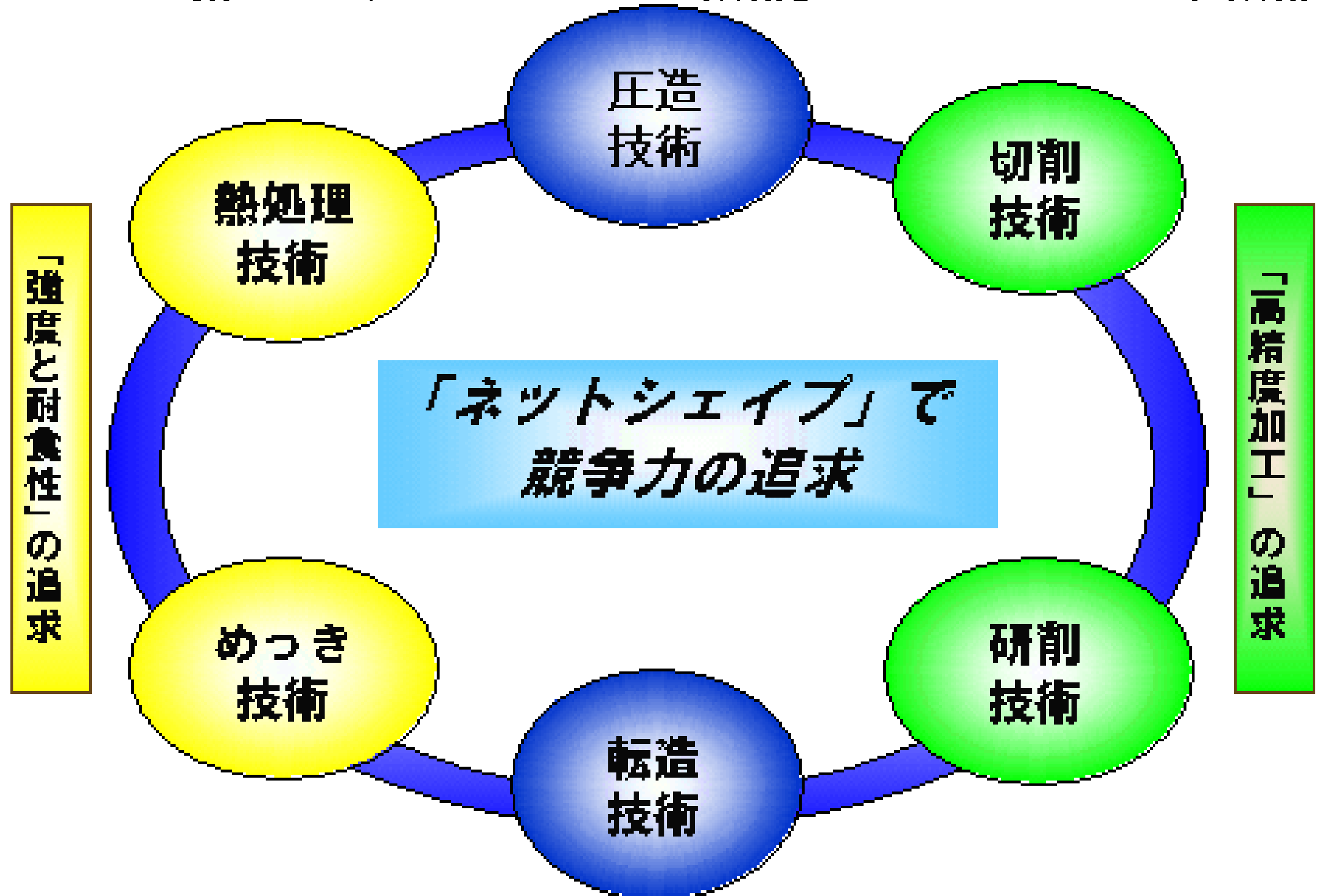
転造機 1号機 2号機 3号機



自動重量のつき装置 1号機 2号機

# 【成長戦略を支える技術】

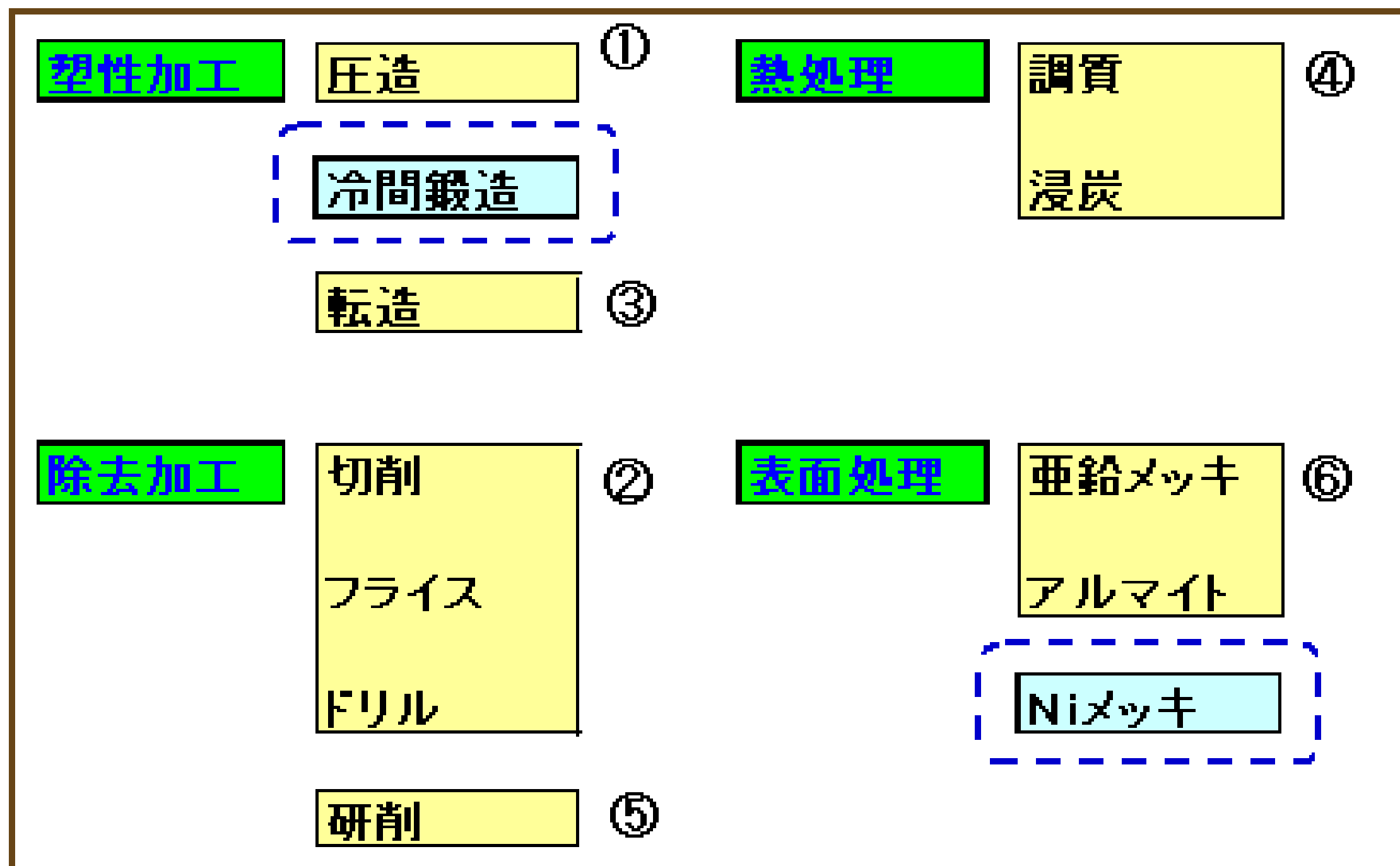
タツミが目指すモノ造り ⇒ 「6つの技術」と「つなぐライン化技術」



## 【新技術】

『6つの技術』・・・①～⑥

『新技術』

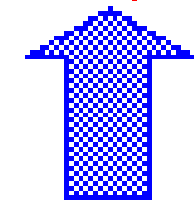




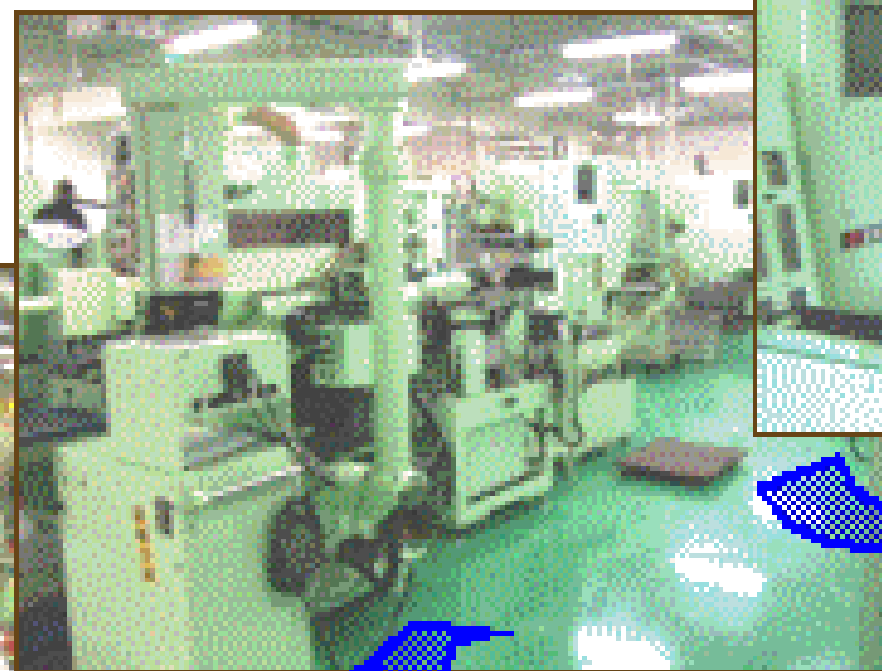
# 【生産システムの進化】



『一貫ライン』



『製品別職場』



『加工群職場』



## 【試作機能の拡充】

- 1) 試作専任者・・・‘04年度2名,’05～07年度3名
- 2) 試作専用設備を技術部棟1Fに15台移設  
(技術部工程技術課機能が集約された)



『試作域 全景』

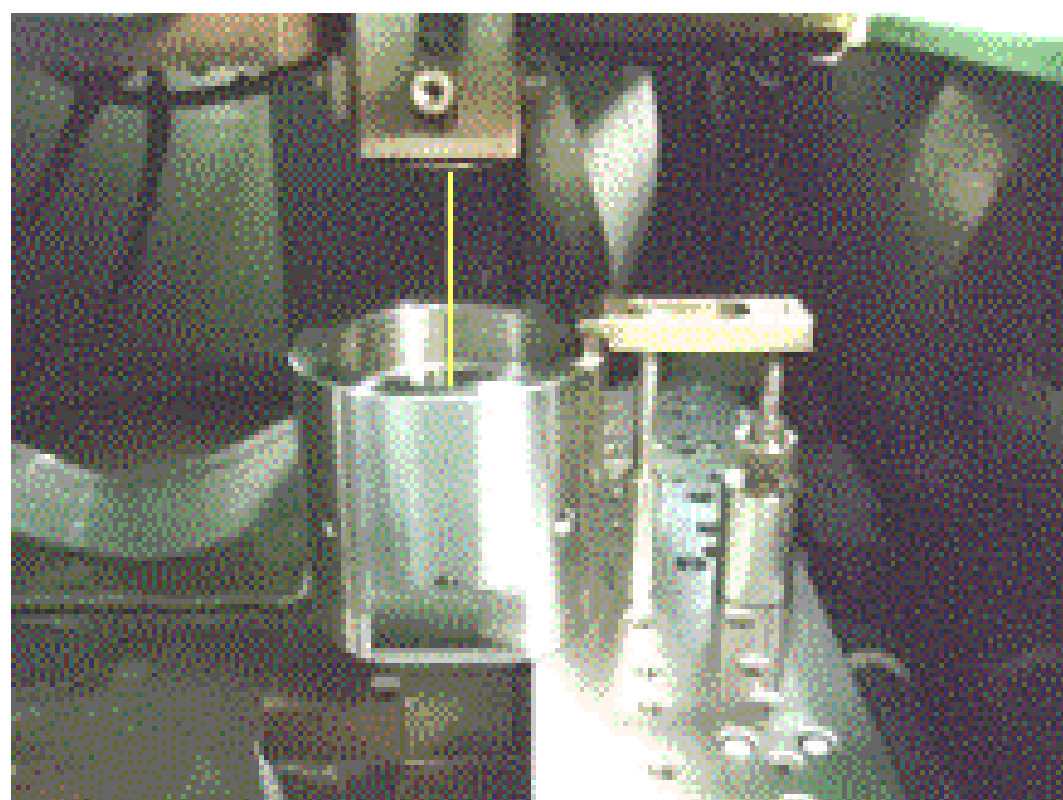
## 『試作設備一覧表』

	設備名	メーカー	型式
1	普通汎用旋盤	滝澤鉄工所	3尺
2	NC旋盤	高松機械	(1/4インチ)
3	ハンプレス	曙機械工業	
4	ハンプレス	曙機械工業	
5	CNCハンプレス	イグロ	EBN-0r
6	マシニングセンター	松浦機械製作所	MC-510V
7	NCフライス盤	特國鐵工所	
8	積り仮	長谷川機械	HPF
9	成形研削盤	岡本工作機械製作所	PRG300
10	インターナル研削盤	中村国精密工業	一休さん
11	丸転造盤(6寸)	カネ	6RA
12	高速精密自動マシニング盤	日進製作所	2連式
13	エアプレス	シゲル工業	
14	スピニングマシン	アサヒ工業	BRM-211
15	投影機	ニコン	V-12

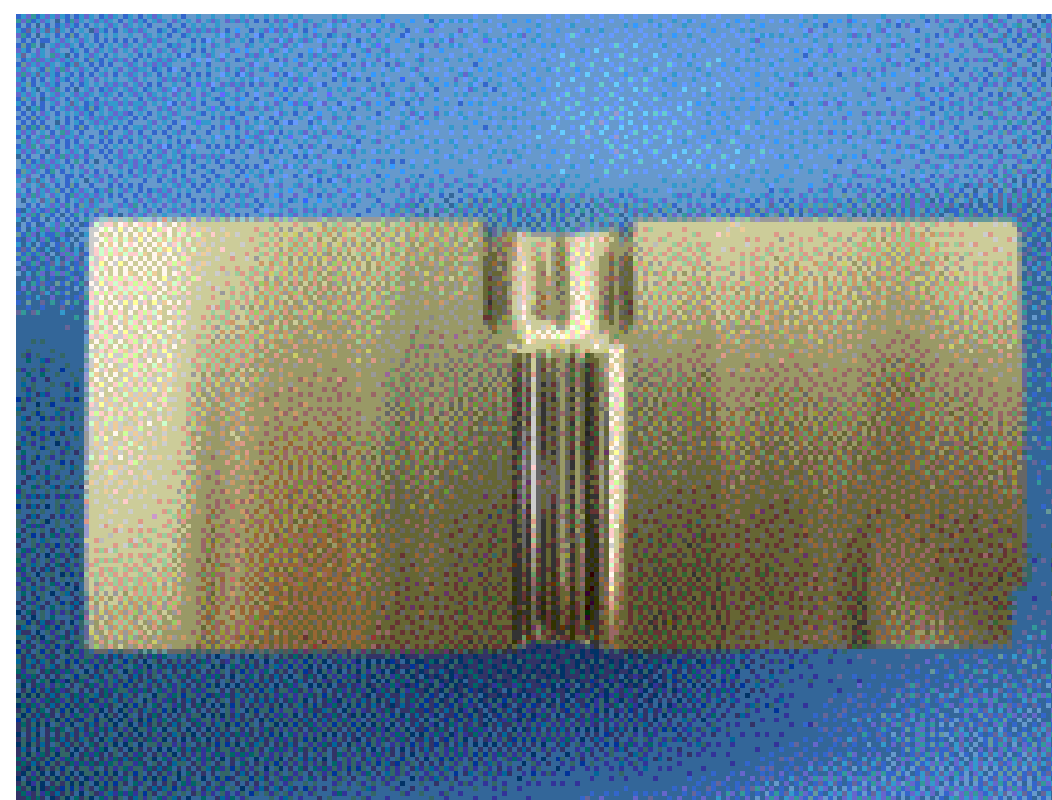
## 【金型内製化】

### 『ギヤ形状等の高付加価値な金型の内製化』

- 1)内製化による取込み金額・・・50百万円/年(内製率20%)
- 2)金型製作のリードタイム短縮・・・1/2以下(75日→35日)
- 3)金型寿命UP・・・30%up



『ワイヤーカット放電加工のセット状態』



『ギヤダイス断面』

## 6. 成長戦略

## 【タツミの強み】

1. 圧造・機械加工・熱処理・メッキ設備を有し、  
”社内一貫加工体制”を有する。
2. ギヤー圧造加工・フォーム転造に加え、  
長物シャフトの“塑性加工技術”が向上している。
3. 戦略製品と言われる主要製品の柱を複数もっている。

## 【脅威と機会】

1. 日本の販売は伸びない ⇒ “**過当競争**”に入る。
2. 海外工場の稼働 ⇒ 生産する処で調達。
3. “**トヨタ品質**”で“**チャイナコスト**”を要求される。

# 2010年ビジョン

## 《売上高》

08年3月期計画

当初連結  
で開示

65億円

11年3月期目標

80億円

個別

64億円+α

80億円？

JASDAQ中堅企業となるために・・・

**END**

**ご清聴ありがとうございました。**

本資料に記載されている当社の業績の予想等は、本資料作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因要素によって予想数値と異なる場合があります。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社 タツミ

業務部

TEL：0284-71-3131